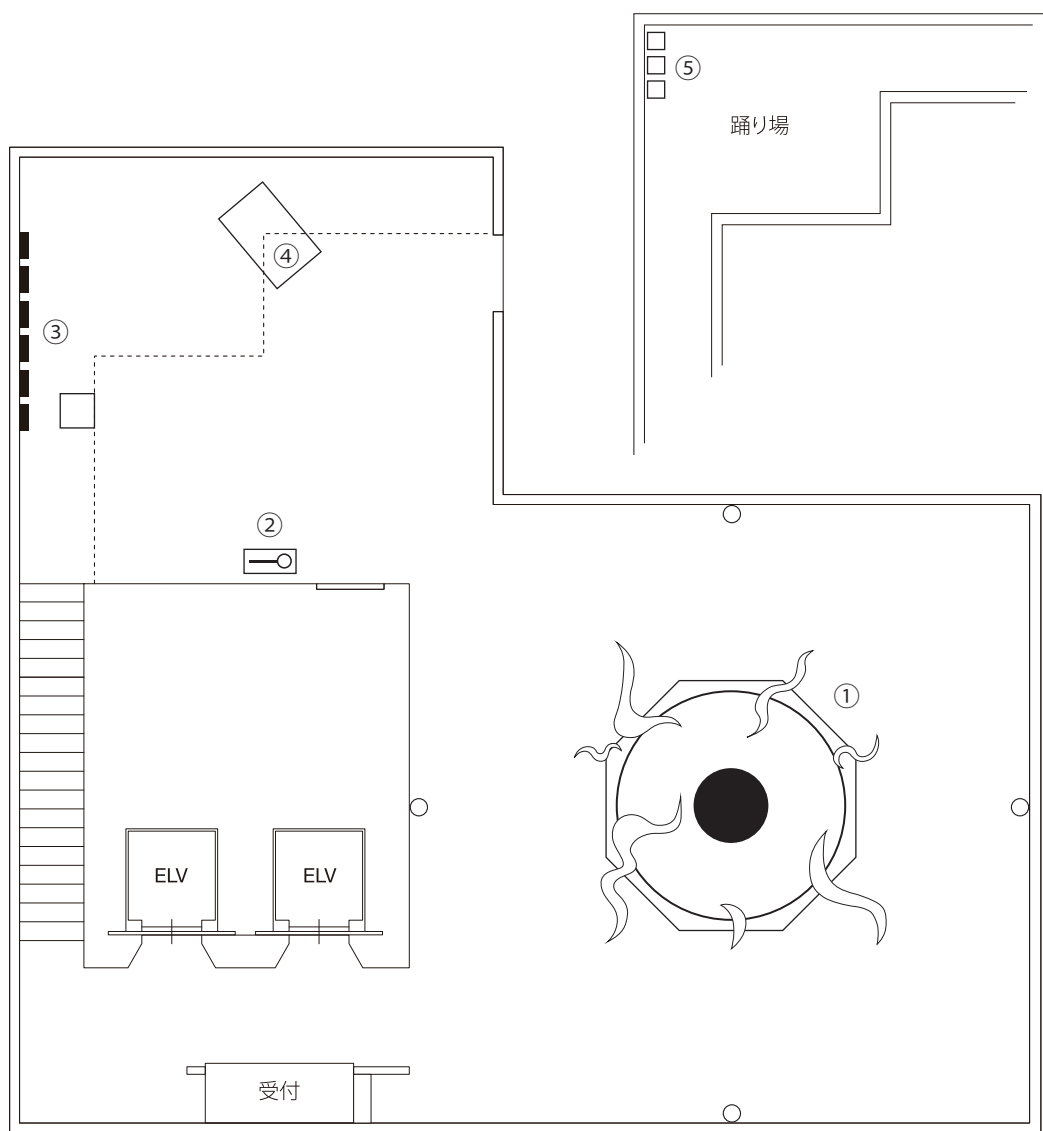




- ① 《 静かなダンス 》2020 ミクストメディア
- ② 《 Invisible soundscape ~version 1 : (1 + $\sqrt{5}$)/2+x~ 》2020 ミクストメディア
- ③ 《 Outline gauge ~version 1 : (1 + $\sqrt{5}$)/2+x~ 》2020 ミクストメディア
- ④ 《 Never the same 》2019 ミクストメディア
- ⑤ 《 Interrelations ~version 1 : (1 + $\sqrt{5}$)/2+x~ 》2020 ミクストメディア

「shiseido art egg」は、「新しい美の発見と創造」という考えのもと、オープン以来100年以上にわたり活動を続けてきた資生堂ギャラリーの門戸を新進アーティストに開く公募制のプログラムです。14回目となる今回は、全国各地よりいただいた215件の応募から西 太志(にしたいし)、橋本 晶子(はしもと あきこ)、藤田 クレア(ふじた くれあ)の3名の個展を10月～12月にかけて開催します。

第3期に展示をする藤田 クレアは、人間同士のつながりや距離、時代とともに変化していくコミュニケーションの在り方に関心を広げてきました。様々な関係性をあらかず機械仕掛けのオブジェやインスタレーションを作成し、ギャラリーの空間を音や時間を含めた動的な場所に変容させます。

大展示室では、巨大なシャンデリアのようなオブジェを中央に設置し、それを囲むように壁面に動く金属棒を配置することで、銀座の地下で行われる秘密のダンスパーティーをイメージしました。

踊り場と小展示室に展示した巻貝の作品は、「黄金比」といわれるそれらのかたちをなぞり測定した結果を音やドローイングに変換しています。

海外生活が長く多文化の中で育った藤田は、常に他者との違いを意識してきました。その「わからない」ことを肯定し、興味深く観察することにより作品化します。それは関係性の構造についての考察でもあり、新たなコミュニケーションにより加速するともいわれる「分断」や「同調圧力」といった社会問題に対するささやかな抵抗でもあります。

藤田 クレア

1991 中国北京 生まれ

2018 東京藝術大学 大学院美術研究科修士課 先端芸術表現専攻 修了

現在 東京藝術大学 大学院美術研究科 グローバルアートプラクティス専攻 教育研究 助手

主な展覧会

2019.12 「Intersection」LAD Gallery (愛知県、名古屋市)[個展]

2019.04 「Resonance Materials Project 2019 ~Sensory~」
ミラノデザインウィーク、Spazio Rossana Orlandi (イタリア、ミラノ)

2018.12 「交叉域 Cross Domain」蘇州金鶏湖美術館 (中国、蘇州)

2017.07 「ART OSAKA2018」ホテルグランヴィア大阪 (大阪府)

2016.07 「GEIDAI UNDERGROUND 」銀座駅 (東京都、銀座)

2016.03 「スプリングボード展2016」上野駅 (東京都、上野)

受賞歴

2016年 東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 買い上げ賞 受賞

2016年 東京メトロ財団賞 受賞

首都東京のブランド街とも言われる銀座の地下で行われる
秘密のボールダンスパーティー。

初めて会う人や物を窺う。
外見から窺い、中身を知ろうとする。
本当の中身は誰も知ることはいできない。
本当なんて本当はなかったのかもしれない。